



真弓南自治会の皆様へ

平成 29 年 6 月 26 日
真弓南自治会長 井上圭司
防災担当副会長 金本義子

★ 2017 防災体験学習のご報告 ★

本年度も防災対策の取り組みの一つとして、近い将来、高い確率で南海トラフ巨大地震がおこると予想されていることを受け止め、役員、班長、民生委員、専門部の皆様に防災に関する知識を身につけていただくと共に、自助、共助意識の向上を目的として、各種防災の疑似体験ができる施設で体験学習を実施致しましたので内容をご報告いたします。



奈良市防災センター

実施日 2017年6月25日（日曜日）
場所 奈良市防災センター
参加人数 25名（撮影の岡野様と岡谷様を含む）



1. 消火体験

【訓練用の消火器を使って、火災の映し出されたモニターに向かって消火する】

- (1) 出火したら、「火事だ！」と大声で叫び近所の人たちに知らせる。
- (2) 119番に電話し（火災）通報する。（周りの人にかけてもらう）
- (3) 初期消火を行う。ボヤの内に消し止められるかが分かれ目、消火器、水、濡らした毛布などを使う。
- (4) 天井まで燃え広がったらすぐ避難する。

消火器の使い方



- ① 黄色い安全ピンを上引き抜く
- ② ホースを外し、ホースの先端を持って火に向ける。
- ③ レバーを握って放射する。（火の根本を狙う）

2. 煙避難体験

【暗闇の中、疑似煙が充満する中、通路から非常口をめざして避難する体験】

- (1) タオルやハンカチなどで口を覆い、煙を吸わないようにする。
- (2) できるだけ低い姿勢で、押さない、走らない、しゃべらない戻らない。
- (3) 煙で前が見えない場合は、壁伝いに非常口をめざす。

※ホテル、旅館などでは、部屋に入る前に非常口を確認することが大切。



煙が充満した部屋（迷路）で視界がさえぎられた時、避難するのがいかに難しいかを体験



手すりをしっかり持ち、身体を傾け、足を踏ん張らないと立ってられない状態でした



3. 台風体験

【目の乾燥を防ぐためゴーグルをつけ、風速 20m を体験】

- (1) 台風は、事前に来ることが予想できるため、家の周りを点検する。
- (2) 強風で飛ばされる可能性のある植木鉢などは、家の中にしまう。
- (3) しまうことができない大きなものは固定する。
- (4) 台風の接近時には、なるべく外へ出ないようにする。



4. 地震体験

【瞬間震度 1~7 までの揺れを体験でき、また、今後発生が予想される東南海・南海地震の揺れを体験】

- (1) 屋内で地震が発生した場合は、まず第一に自分の身を守る。
※倒れやすい箆笥や本棚、窓ガラスから離れ、テーブルや机の下に避難し頭を保護する。
- (2) ドアを開けて出口を確保
※大地震の場合は、建物がゆがみ出入口が開かなくなることがあるため
- (3) 火の始末をする。
※最近のガスメーターは、震度 5 弱以上で安全装置が作動しガスが止まるので、地震の揺れがおさまった後に確認する。
ガスの元栓も閉める。
- (4) 避難する時は徒歩で移動する。
※通電火災を防ぐため、家のブレーカーは一旦切りコンセントも抜く。



手すりにしがみつき、
どうにか立つことができた状態でした



映像システムにより
防災に関する基礎知識の確認



5. 体験学習を終えて

懸念される南海トラフ巨大地震は、地殻のひずみが広い範囲でたまっていることが原因で、専門家は「いつ起きても不思議ではない」と警鐘をならしています。

真弓南自治会の皆様も何をどのように備えるかを考え準備をしておきましょう。

- 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
- 寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。
- 就寝時、手の届くところに、懐中電灯や履物を用意しておきましょう。
- 食糧、飲料水などの備蓄、非常用持ち出しバッグの準備など、備えることが減災につながります。



《参加者のスナップ写真》



